

## 統一通貨圏における地域インフレと産業構造

筑波大学 永易淳

統一通貨圏では、地域別インフレは同様なレベルでなければならないと議論されてきた。しかし、先行研究によると、この条件を満たしていないケースは多く存在し、その要因として、産業別インフレおよび統一通貨圏内の産業（経済）構造が異なることが指摘されている。本論文はこの点を日本の地域データから検証することにより、地域インフレと産業構造の関係を分析する。結論として、第二次・第三次産業の地理的集中化が地域インフレの相違の要因であることを指摘している。また、産業の地域化が進む中、地域間のインフレの相違は頻繁にそして持続する現象があると論じている。この結論を踏まえ、Euro 圏での経済収斂問題を議論する。